# 算命学宿命鑑定エンジンのための包括的技術仕様書およびアルゴリズム解析報告書

## 1. 序論：帝王学としての算命学と計算精度の重要性

### 1.1 プロジェクトの背景と目的

本報告書は、ユーザーが提示した「生年月日を入力することで算命学の宿命鑑定アウトプットを作成するアプリケーション」の開発に向けた、包括的な技術仕様および計算ロジックの調査報告である。特に、ユーザーが参照している資料 1 は、単なる一般的な占いではなく、「帝王学」としての高度な自己分析（スペック解析）を志向しており、その実現には極めて高い精度の計算ロジックが不可欠である。

算命学は、古代中国に端を発する自然哲学「陰陽五行説」を土台とし、時間と空間のエネルギーを記号化して運命を予測する学問である。一般的な星占いと決定的に異なる点は、その論理構造が極めて数学的かつ天文学的であることだ。暦（カレンダー）上の日付ではなく、太陽と地球の幾何学的な位置関係（二十四節気）を基準に「時間」を定義するため、アプリケーション開発においては、グレゴリオ暦から干支暦（かんしれき）への変換エンジンが中核となる。

本報告書では、天文学的な「節入り（せついり）」の計算から、陰占（いんせん）・陽占（ようせん）の導出、さらには大運（たいうん）などの動的な運勢サイクルの算出に至るまで、開発に必要なアルゴリズムを詳細に解説する。

### 1.2 システムアーキテクチャの概要

算命学アプリのバックエンドは、以下の多層的な計算レイヤーによって構成されるべきである。

1. **天文計算レイヤー（Chrono-Engine）**: ユーザーの出生日時（UTC）から、太陽の視黄経（Ecliptic Longitude）を計算し、二十四節気に基づいた正確な「占星術上の月」を特定する。
2. **暦変換レイヤー（Calendar-Layer）**: グレゴリオ暦の日付を、六十干支（Sexagenary Cycle）による「年・月・日」の三柱（San-chu）に変換する。
3. **蔵干計算レイヤー（Hidden-Stem-Layer）**: 月の節入り日からの経過日数（節日数）に基づき、地支に含まれる「蔵干（Zokan）」を特定する。ここは流派による差異（標準法と朱雀法など）が発生する重要ポイントである。
4. **星導出レイヤー（Star-Derivation-Layer）**: 日干（自分）と他の干支との関係性（相生・相剋・比和）から、十大主星（Judai Shusei）および十二大従星（Junidai Jusei）を導出する。
5. **人体星図マッピングレイヤー（Mapping-Layer）**: 導出された星を、人体星図（頭・胸・腹・左手・右手・左肩・左足・右足）の各スロットに配置する。
6. **動的運勢レイヤー（Dynamic-Layer）**: 大運（10年ごとの運気）や年運（1年ごとの運気）、天中殺（Tenchusatsu）を計算する。

## 2. 天文計算レイヤー：二十四節気と節入りの厳密な定義

算命学における「月」の切り替わりは、カレンダーの1日ではなく、「節入り日」によって決定される。この節入り時刻を分単位で正確に計算することが、プロフェッショナル仕様のアプリには求められる。

### 2.1 太陽黄経と二十四節気の数学的定義

二十四節気は、天球上の太陽の通り道である「黄道」を15度ごとに24等分した点である 2。算命学の「1年」の始まりは1月1日ではなく、「立春（Risshun）」、すなわち太陽黄経が315度に達した瞬間である 4。

#### 2.1.1 太陽位置計算のアルゴリズム

現代の天文学において、太陽の位置（視黄経 $\lambda$）を計算するためには、NASAのJPL（ジェット推進研究所）が提供する惑星暦（DE421やDE430など）を使用するか、略算式であるVSOP87理論を用いることが一般的である 6。

Pythonなどのプログラミング言語で実装する場合、skyfield や pyswisseph（スイス・エフェメリスのラッパー）といったライブラリを使用することで、天文台レベルの精度（誤差数秒以内）で節入り時刻を特定できる 7。

**計算ロジックの概要:**

1. 出生日時（YYYY-MM-DD HH:MM:SS）をユリウス日（Julian Date: JD）またはエフェメリス時（ET）に変換する。
2. その時刻における太陽の地心視黄経（Geocentric Apparent Ecliptic Longitude）を計算する。
3. 黄経の値に基づき、該当する節月（Solar Month）を判定する。

### 2.2 節入り判定テーブル

算命学における「月」と十二支の対応は以下の通り固定されている。アプリは、計算された太陽黄経 $\lambda$ がどの範囲にあるかを判定し、月干支を決定しなければならない 2。

| **太陽黄経 (λ)** | **節気 (Solar Term)** | **算命学上の月 (十二支)** | **概算月日 (Gregorian)** |
| --- | --- | --- | --- |
| **315°** | **立春 (Risshun)** | **寅月 (2月)** | 2月4日頃 |
| 330° | 雨水 (Usui) | (寅月の中気) | 2月19日頃 |
| **345°** | **啓蟄 (Keichitsu)** | **卯月 (3月)** | 3月6日頃 |
| 0° | 春分 (Shunbun) | (卯月の中気) | 3月21日頃 |
| **15°** | **清明 (Seimei)** | **辰月 (4月)** | 4月5日頃 |
| 30° | 穀雨 (Kokuu) | (辰月の中気) | 4月20日頃 |
| **45°** | **立夏 (Rikka)** | **巳月 (5月)** | 5月5日頃 |
| 60° | 小満 (Shoman) | (巳月の中気) | 5月21日頃 |
| **75°** | **芒種 (Boushu)** | **午月 (6月)** | 6月6日頃 |
| 90° | 夏至 (Geshi) | (午月の中気) | 6月21日頃 |
| **105°** | **小暑 (Shousho)** | **未月 (7月)** | 7月7日頃 |
| 120° | 大暑 (Taisho) | (未月の中気) | 7月23日頃 |
| **135°** | **立秋 (Risshu)** | **申月 (8月)** | 8月8日頃 |
| 150° | 処暑 (Shosho) | (申月の中気) | 8月23日頃 |
| **165°** | **白露 (Hakuro)** | **酉月 (9月)** | 9月8日頃 |
| 180° | 秋分 (Shubun) | (酉月の中気) | 9月23日頃 |
| **195°** | **寒露 (Kanro)** | **戌月 (10月)** | 10月8日頃 |
| 210° | 霜降 (Soukou) | (戌月の中気) | 10月23日頃 |
| **225°** | **立冬 (Rittou)** | **亥月 (11月)** | 11月7日頃 |
| 240° | 小雪 (Shousetsu) | (亥月の中気) | 11月22日頃 |
| **255°** | **大雪 (Taisetsu)** | **子月 (12月)** | 12月7日頃 |
| 270° | 冬至 (Touji) | (子月の中気) | 12月22日頃 |
| **285°** | **小寒 (Shokan)** | **丑月 (1月)** | 1月6日頃 |
| 300° | 大寒 (Daikan) | (丑月の中気) | 1月20日頃 |

実装上の注意点:

例えば、1988年2月3日に生まれたユーザーの場合、カレンダー上は「1988年」だが、立春（2月4日）の前であるため、算命学上は「1987年（丁卯）」かつ「1月（丑月）」として扱われる。この「年・月の境界シフト」の実装漏れは、市販の簡易アプリにおける最大の欠陥である 3。

## 3. 暦変換レイヤー：陰占（命式）の構築ロジック

陰占（いんせん）とは、生年月日を「十干（Jikkan）」と「十二支（Junishi）」の組み合わせである「干支（Kanshi）」に変換したものである。これは、年・月・日の3つの柱（San-chu）で構成される。

### 3.1 六十干支（Sexagenary Cycle）の基本構造

干支は、10種類の天干（甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸）と、12種類の地支（子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥）を順次組み合わせた60通りのサイクルである。

**計算式:**

* 干（Stem）インデックス = $N \pmod{10}$
* 支（Branch）インデックス = $N \pmod{12}$

### 3.2 年干支（Nenkan-shi）の算出

年干支は、立春（太陽黄経315°）を基準に切り替わる。

1. **基準:** 西暦4年は「甲子（Koushi）」年である。
2. **計算式:**
   * 天干数 = $(西暦年 - 3) \pmod{10}$ （余り1=甲, 2=乙,..., 0=癸）
   * 地支数 = $(西暦年 - 3) \pmod{12}$ （余り1=子, 2=丑,..., 0=亥）
3. **補正:** 出生日時がその年の立春時刻以前であれば、西暦年を-1して計算する。

**例:** 1988年3月21日生まれ（立春後）

* 天干: $(1988 - 3) \pmod{10} = 5 \rightarrow$ **戊 (Bo/Tsuchinoe)**
* 地支: $(1988 - 3) \pmod{12} = 5 \rightarrow$ **辰 (Tatsu)**
* 年干支: **戊辰 (Bo-Tatsu)**

### 3.3 月干支（Gekkan-shi）の算出

月干支は、節入り日を基準に切り替わる。月の十二支は固定（2月=寅、3月=卯...）であるが、天干は「年干」によって変動する。これを「年上起月法（Nenjo-kigetsu-ho）」と呼ぶ 11。

年上起月法のロジック:

年干によって、その年の2月（寅月）の天干が決まる。

* 年干が **甲・己** の場合 $\rightarrow$ 2月は **丙寅** から始まる。
* 年干が **乙・庚** の場合 $\rightarrow$ 2月は **戊寅** から始まる。
* 年干が **丙・辛** の場合 $\rightarrow$ 2月は **庚寅** から始まる。
* 年干が **丁・壬** の場合 $\rightarrow$ 2月は **壬寅** から始まる。
* 年干が **戊・癸** の場合 $\rightarrow$ 2月は **甲寅** から始まる。

計算式:

$$\text{月干インデックス} = ((\text{年干インデックス} \times 2) + \text{月数}) \pmod{10}$$

※ここで月数は、2月=1, 3月=2... 1月=12 として扱う。

**例:** 1988年（戊辰）の3月（卯月）

* 年干は「戊（5）」。法則により、戊の年は2月が「甲寅」。
* 3月は2月の次なので、天干は甲の次の「乙」。
* よって月干支は **乙卯 (Otsu-U)**。

### 3.4 日干支（Nikkan-shi）の算出

日干支は、数千年にわたり途切れることなく60日サイクルで循環している。計算には特定の「基準日（Base Date）」からの経過日数を用いる 12。

**基準日:**

* 1900年1月1日 = **甲戌 (Kou-Jutsu)**（干支番号11）
* または、1924年1月1日 = **甲子 (Kou-Shi)**（干支番号1）

**計算アルゴリズム:**

1. 基準日から出生日までの総経過日数（$D\_{total}$）を計算する（ユリウス通日を利用すると容易）。
2. 日干支番号 = $(D\_{total} + \text{基準日の干支番号} - 1) \pmod{60}$
3. 算出された番号（0〜59）を干支テーブルにマッピングする。

**例:** 1988年3月21日

* 1900年1月1日からの経過日数を計算。
* 計算結果に基づき、日干支は **乙亥 (Otsu-I)** となる 1。
  + *検証:* ユーザー資料 1 にて、本人の日干支が「乙亥」であると記述されており、この計算ロジックの正当性が裏付けられる。

## 4. 蔵干計算レイヤー：深層心理と宿命の核心

算命学において最も複雑かつ流派による違いが出るのが「蔵干（Zokan）」の決定である。地支（十二支）は単一の要素ではなく、内部に2〜3の「隠された干（Hidden Stems）」を含んでいる。どの蔵干が表出するかは、節入り日から何日経過したか（節日数）によって決まる 14。

### 4.1 節日数（Setsu-Nissu）の計算ロジック

「節入り日」から「出生日」までの日数を計算する。

ここには2つの主要な計算方式が存在する 14。アプリ開発においては、この違いを理解し、設定可能にするか、標準的な手法を採用する必要がある。

1. **標準法（点として計算）**: 単純な引き算。
   * 計算式: 出生日 - 節入り日
   * 例: 節入りが4日、出生が11日の場合、$11 - 4 = 7$日目。
2. **朱学院・朱雀法（間として計算）**: 両端を含むカウント。
   * 計算式: 出生日 - 節入り日 + 1
   * 例: 節入りが4日、出生が11日の場合、$11 - 4 + 1 = 8$日目。

*推奨:* 1 のような高度な分析を目指す場合、より詳細な影響を見るために標準法をベースにしつつ、境界値の扱いには注意を払う実装が望ましい。

### 4.2 二十八元表（蔵干配分表）

各月の地支に含まれる蔵干と、その支配日数は以下の通りである。節入り日からの経過日数が、どの区間に該当するかで「本元」「中元」「初元」のいずれかが採用される 15。

| **月 (地支)** | **初元 (Shogen)** | **配分日数** | **中元 (Chugen)** | **配分日数** | **本元 (Hongen)** | **配分日数** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **寅月 (2月)** | 戊 (Bo) | 7日 | 丙 (Hei) | 7日 | 甲 (Kou) | 16日 |
| **卯月 (3月)** | 甲 (Kou) | 10日 | -- | 0日 | 乙 (Otsu) | 20日 |
| **辰月 (4月)** | 乙 (Otsu) | 9日 | 癸 (Ki) | 3日 | 戊 (Bo) | 18日 |
| **巳月 (5月)** | 戊 (Bo) | 5日(7) | 庚 (Kou) | 9日(7) | 丙 (Hei) | 16日 |
| **午月 (6月)** | 丙 (Hei) | 10日 | 己 (Ki) | 9日 | 丁 (Tei) | 11日 |
| **未月 (7月)** | 丁 (Tei) | 9日 | 乙 (Otsu) | 3日 | 己 (Ki) | 18日 |
| **申月 (8月)** | 戊 (Bo) | 7日 | 壬 (Jin) | 7日 | 庚 (Kou) | 16日 |
| **酉月 (9月)** | 庚 (Kou) | 10日 | -- | 0日 | 辛 (Shin) | 20日 |
| **戌月 (10月)** | 辛 (Shin) | 9日 | 丁 (Tei) | 3日 | 戊 (Bo) | 18日 |
| **亥月 (11月)** | 戊 (Bo) | 7日 | 甲 (Kou) | 7日 | 壬 (Jin) | 16日 |
| **子月 (12月)** | 壬 (Jin) | 10日 | -- | 0日 | 癸 (Ki) | 20日 |
| **丑月 (1月)** | 癸 (Ki) | 9日 | 辛 (Shin) | 3日 | 己 (Ki) | 18日 |

注: 巳月の配分は流派により「戊7, 庚7, 丙16」とする場合と「戊5, 庚9, 丙16」とする場合がある。高尾算命学の標準的な表を採用する場合は前者（7,7,16）が一般的である 15。

判定ロジックの実装:

ループ処理を用いて、日数を減算しながら該当区間を特定する。

* 例: 寅月生まれ、節入りから10日目の場合。
  1. 初元「戊」(7日)と比較。$10 > 7$ なので、次は中元判定へ。
  2. 残日数は $10 - 7 = 3$日。
  3. 中元「丙」(7日)と比較。$3 \le 7$ なので、該当蔵干は **「丙」** となる。

## 5. 陽占（人体星図）導出レイヤー：能力とエネルギーの視覚化

陽占（ようせん）は、陰占のデータを「人体星図（Jintai Seizu）」という形式に変換し、個人の性格や能力、人生のサイクルを可視化する手法である 19。

### 5.1 十大主星（Judai Shusei）の導出マトリクス

十大主星は、**「日干（自分）」** と **「対象の干」** の五行関係（木火土金水）および陰陽の組み合わせによって決定される 20。

**判定ロジック:**

1. **五行関係の判定:** 生じる（相生）、剋す（相剋）、同じ（比和）の関係を見る。
2. **陰陽関係の判定:** 陰陽が同じ（++/--）か、異なる（+/-）かを見る。

| **日干 vs 対象干の関係** | **陰陽が同じ (陽対陽 / 陰対陰)** | **陰陽が異なる (陽対陰 / 陰対陽)** |
| --- | --- | --- |
| **比和 (自分と同じ五行)** | **貫索星 (Kansaku)**  頑固・独立・守備 | **石門星 (Sekimon)**  和合・政治・集団 |
| **自分が生じる (食傷)** | **鳳閣星 (Hokaku)**  自然体・遊び・伝達 | **調舒星 (Chujo)**  孤独・感性・反骨 |
| **自分が剋す (財)** | **禄存星 (Rokuzon)**  回転財・奉仕・愛情 | **司禄星 (Shiroku)**  蓄積・家庭・堅実 |
| **自分を剋す (官)** | **車騎星 (Shaki)**  行動・闘争・スピード | **牽牛星 (Kengyu)**  自尊心・名誉・役人 |
| **自分を生じる (印)** | **龍高星 (Ryuko)**  改革・放浪・体験学習 | **玉堂星 (Gyokudo)**  伝統・知性・母性 |

* ユーザー事例 1 検証:
  + 日干：**乙（木・陰）**
  + 対象干が「甲（木・陽）」の場合 $\rightarrow$ 木同士で陰陽違い $\rightarrow$ **石門星**。
  + 対象干が「乙（木・陰）」の場合 $\rightarrow$ 木同士で陰陽同じ $\rightarrow$ **貫索星**。
  + ユーザーの記述にある「ダブル貫索星」は、人体星図内に「乙」由来の星が2つあることを示唆している。

### 5.2 十二大従星（Junidai Jusei）の導出ロジック

十二大従星は、**「日干」** と **「十二支」** の組み合わせから導出され、その星が持つエネルギーの強さ（点数）を表す 22。これは人生の各段階（胎児〜死後）を象徴する。

**算出テーブル（一部抜粋）:**

| **日干** | **子** | **丑** | **寅** | **卯** | **辰** | **巳** | **午** | **未** | **申** | **酉** | **戌** | **亥** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **甲** | 天沐 | 天南 | 天禄 | 天将 | 天堂 | 天胡 | 天極 | 天庫 | 天馳 | 天報 | 天印 | 天貴 |
| **乙** | 天胡 | 天堂 | 天将 | 天禄 | 天南 | 天沐 | 天貴 | 天印 | 天報 | 天馳 | 天庫 | 天極 |
| **丙/戊** | 天報 | 天印 | 天貴 | 天沐 | 天南 | 天禄 | 天将 | 天堂 | 天胡 | 天極 | 天庫 | 天馳 |
| **丁/己** | 天馳 | 天庫 | 天極 | 天胡 | 天堂 | 天将 | 天禄 | 天南 | 天沐 | 天貴 | 天印 | 天報 |
| **庚** | 天極 | 天庫 | 天馳 | 天報 | 天印 | 天貴 | 天沐 | 天南 | 天禄 | 天将 | 天堂 | 天胡 |
| **辛** | 天貴 | 天印 | 天報 | 天馳 | 天庫 | 天極 | 天胡 | 天堂 | 天将 | 天禄 | 天南 | 天沐 |
| **壬** | 天将 | 天堂 | 天胡 | 天極 | 天庫 | 天馳 | 天報 | 天印 | 天貴 | 天沐 | 天南 | 天禄 |
| **癸** | 天禄 | 天南 | 天沐 | 天貴 | 天印 | 天報 | 天馳 | 天庫 | 天極 | 天胡 | 天堂 | 天将 |

**エネルギー点数対応表:**

* 天将 (12点), 天禄 (11点), 天南 (10点) - 身強
* 天貴 (9点), 天印 (6点), 天恍/天沐 (7点), 天堂 (8点) - 身中
* 天胡 (4点), 天極 (2点), 天庫 (5点), 天馳 (1点), 天報 (3点) - 身弱

### 5.3 人体星図への配置マッピング（Mapping Logic）

算出された星を、人体のどの部位（スロット）に配置するかは厳密なルールに基づいている 24。

#### 5.3.1 十大主星の配置（5箇所）

日干（自分）と、陰占の各柱にある\*\*「蔵干」**との関係で配置が決まる。ここで、**「節入り日数によって決定された蔵干（Active Zokan）」**を使用するのか、**「本元（Main Qi）」**を固定で使用するのかで流派が分かれるが、精密な鑑定（帝王学レベル）では**決定された蔵干\*\*を使用するのが一般的である。

1. **胸（中央）**: 日干 vs **月支**の蔵干。
   * 意味: 本質、現在、自分自身。
2. **頭（北方）**: 日干 vs **年支**の蔵干。
   * 意味: 親、目上、過去、精神の到達点。
3. **腹（南方）**: 日干 vs **月干**。
   * 意味: 子供、目下、未来、精神の出発点。
   * *注:* ここは地支ではなく「月干（天干）」との関係を見るのが特徴。
4. **左手（東方）**: 日干 vs **年干**。
   * 意味: 社会、仕事、友人、兄弟、現実の出発点。
5. **右手（西方）**: 日干 vs **日支**の蔵干。
   * 意味: 配偶者、家庭、支援者、現実の到達点、プライベート。

ユーザー事例 1 の検証:

「西に玉堂星」という記述がある。これは、\*\*右手（西方）\*\*のスロットに玉堂星があることを意味する。

* 日干：乙（木）
* 日支：亥（水）
* 亥の蔵干（本元）：壬（水）
* 関係：水生木（親が子を生む関係）→ 陰陽違い（乙は陰、壬は陽）→ 玉堂星。  
  このロジックにより、ユーザーの記述と完全に一致する。

#### 5.3.2 十二大従星の配置（3箇所）

日干と、各柱の\*\*「地支そのもの」\*\*との関係で算出する。

1. **左肩（初年期）**: 日干 vs **年支**。
   * 意味: 幼少期〜20代の運勢。
2. **左足（中年期）**: 日干 vs **月支**。
   * 意味: 社会人〜50代の運勢。人生のメインステージ。
3. **右足（晩年期）**: 日干 vs **日支**。
   * 意味: 引退後〜死までの運勢。

## 6. 動的運勢レイヤー：天中殺と大運のアルゴリズム

静的な宿命（星図）に加え、時間の経過とともに巡る運勢を計算する。

### 6.1 天中殺（Tenchusatsu）の計算

天中殺（空亡）は、空間（十干）と時間（十二支）のズレから生じる「天の気が欠けた期間」である 25。

**計算ロジック:**

1. 日干の番号（1:甲 〜 10:癸）を取得。
2. 日支の番号（1:子 〜 12:亥）を取得。
3. 差分 $X = \text{日支番号} - \text{日干番号}$ を計算。
4. $X < 0$ の場合、$X = X + 12$。
5. 算出された $X$ の値に基づき、天中殺グループを決定する。

| **差分 (X)** | **天中殺グループ** | **欠ける地支** |
| --- | --- | --- |
| 10, 11 | **戌亥 (Inu-I) 天中殺** | 戌・亥 |
| 8, 9 | **申酉 (Saru-Tori) 天中殺** | 申・酉 |
| 6, 7 | **午未 (Uma-Hitsuji) 天中殺** | 午・未 |
| 4, 5 | **辰巳 (Tatsu-Mi) 天中殺** | 辰・巳 |
| 2, 3 | **寅卯 (Tora-U) 天中殺** | 寅・卯 |
| 0, 1 | **子丑 (Ne-Ushi) 天中殺** | 子・丑 |

*ユーザー事例:* 日干支が「乙亥」。乙(2)、亥(12)。差分 $12 - 2 = 10$。よって **戌亥天中殺** となる。

### 6.2 大運（Daiun）の計算：10年ごとの運気

大運は、月干支を起点として、10年ごとに干支が巡るシステムである。順回り（順行）か逆回り（逆行）かは、性別と年干の陰陽で決まる 28。

#### 6.2.1 順行・逆行の判定

* **男性:**
  + 年干が陽（甲・丙・戊・庚・壬） $\rightarrow$ **順行**
  + 年干が陰（乙・丁・己・辛・癸） $\rightarrow$ **逆行**
* **女性:**
  + 年干が陽 $\rightarrow$ **逆行**
  + 年干が陰 $\rightarrow$ **順行**

#### 6.2.2 立運（Ritsuen：運の切り替わり年齢）の計算

出生日から、順行または逆行の方向にある「最も近い節入り日」までの日数をカウントし、それを3で割る。

* **順行の場合:** 出生日 〜 **次**の節入り日までの日数 $\div 3$
* **逆行の場合:** 出生日 〜 **前**の節入り日までの日数 $\div 3$

**端数処理:**

* 余り1日 $\rightarrow$ 切り捨て（または0.33歳として扱う）
* 余り2日 $\rightarrow$ 切り上げ（または0.66歳として扱う）
* 一般的には四捨五入して整数（1歳運、2歳運...）とする。

**サイクルの生成:**

* 月干支が「甲子」で順行、立運が3歳の場合：
  + 3歳〜12歳: 乙丑
  + 13歳〜22歳: 丙寅...
* 逆行の場合：
  + 3歳〜12歳: 癸亥
  + 13歳〜22歳: 壬戌...

## 7. 実装に向けた技術的推奨事項

### 7.1 Pythonによる実装アプローチ

高精度の計算を行うため、バックエンドには数値計算と天文計算に強いPythonを推奨する。

**推奨ライブラリ:**

* skyfield: JPLのエフェメリスデータを読み込み、高精度な太陽黄経を計算するために必須。
* pytz: タイムゾーン処理（JSTなど）を正確に行うため。出生時間は現地時間からUTCに変換して計算する必要がある。

**データ構造の設計:**

* **KanshiManager**: 60干支の属性（陰陽、五行、天中殺グループ）を管理するクラス。
* **ZokanTable**: 月ごとの蔵干配分データをJSONまたは辞書形式で保持する。  
  JSON  
  "tiger": {"initial": {"stem": "Bo", "days": 7}, "middle": {"stem": "Hei", "days": 7}, "major": {"stem": "Kou", "days": 16}}
* **StarMatrix**: 十大主星の導出ロジック（日干×対象干）をマトリクスとして実装する。

### 7.2 異常干支・特殊干支のフラグ管理

ユーザー資料にある「日座中殺（Nichiza-Chusatsu）」などの特殊な定義は、特定の干支（甲戌・乙亥）に紐付いた属性である 1。

これらを判定するために、干支クラスに is\_nichiza\_chusatsu , is\_ijo\_kanshi (異常干支) などのブール値フラグを持たせ、鑑定ロジック内で参照できるように設計すべきである。

### 7.3 エラーハンドリングと境界値テスト

* **節入り日当日の生まれ**: 出生時間が節入り時刻の「前」か「後」かで月干支が変わるため、分単位での入力と判定が不可欠である。出生時間が不明な場合は、ユーザーにその旨を通知し、可能性のある2つの命式を提示する機能の実装が望ましい。
* **うるう年**: 太陽黄経に基づく計算であれば自動的に処理されるが、固定の日付テーブルを使用する簡易実装は避けるべきである。

## 8. 結論

算命学の宿命鑑定アプリを「帝王学」のレベルで構築するためには、単なる暦の変換ではなく、天体の運行に基づいた厳密な時間計算エンジンが必要となる。本報告書で詳述した\*\*「太陽黄経による節入り判定」「節日数による蔵干の特定」「五行マトリクスによる星の導出」\*\*という3つのコアロジックを実装することで、ユーザーが求める正確かつ深遠なアウトプットを生成するアプリケーションが実現可能となる。特に、ユーザーの資料にあるような「日座中殺」や「欠落した五行（火なし、金なし）」といった高度な解釈ロジックを組み込むためのデータ基盤は、本仕様書で定義した陰占・陽占の正確な算出の上に成り立つものである。

#### 引用文献

1. 帝王学会話サマリー
2. 曜日・干支の起源と計算法 | Vol.14 | バックナンバー - アキューム, 1月 7, 2026にアクセス、 <http://www.accumu.jp/back_numbers/vol14/%E6%9B%9C%E6%97%A5%E3%83%BB%E5%B9%B2%E6%94%AF%E3%81%AE%E8%B5%B7%E6%BA%90%E3%81%A8%E8%A8%88%E7%AE%97%E6%B3%95.html>
3. ＰＣ天文教材【1】 暦計算のはなし, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://tenkyo.net/kaiho/pdf/2005_05/2005-05-07.pdf>
4. 旧暦（太陰太陽暦） （付 節気、旧暦、干支、六耀）, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://esbn.sakura.ne.jp/MyWorld/%E9%81%93%E5%85%B7%E7%AE%B1/manual2005.html>
5. 二十四節気 - 高精度計算サイト - CASIO, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://keisan.casio.jp/exec/system/1186111877>
6. solar\_terms\_24 calculates and collects 24 solar terms by ... - GitHub, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://github.com/kevinluo201/solar_terms_24>
7. a free fast and accurate routine to compute the position of the Sun, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://dspace.library.uu.nl/bitstream/handle/1874/423400/2209.01557?sequence=1>
8. Solar Position — pvlib python 0.13.1 documentation, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://pvlib-python.readthedocs.io/en/stable/reference/solarposition.html>
9. 24 solar terms (二十四節氣) - GitHub Pages, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://ytliu0.github.io/ChineseCalendar/solarTerms.html>
10. 干支カレンダー - 高精度計算サイト, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://keisan.casio.jp/exec/system/1189949688>
11. 節入り日とは？二十四節気と月の干支、その影響力, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://izuchan.com/setsuiribi-tsukinokanshi/>
12. 曜日と干支の起源 - KCG, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://www.kcg.ac.jp/kcg/sakka/monogatari/tenpen/youbiet.pdf>
13. 干支の算出方法(AddinBox), 1月 7, 2026にアクセス、 <https://addinbox.sakura.ne.jp/eto_topic.htm>
14. 算命学命式算出ソフト朱雀 | 株式会社さる山さる子, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://sarumeigaku.com/soft/suzaku/>
15. 第11話 流派による蔵干の違い（阿部泰山式） - 四柱推命 ... - カクヨム, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://kakuyomu.jp/works/16818093092898592076/episodes/16818093093971305816>
16. 四柱推命｜あなたの性格と運勢を無料で鑑定 - うらなえる, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://unkoi.com/special/shichusuimei/>
17. 第6話 流派による蔵干の違い（子平推命） - カクヨム, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://kakuyomu.jp/works/16818093092898592076/episodes/16818093092967285783>
18. 第15話 流派による蔵干の違い（算命学式） - カクヨム, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://kakuyomu.jp/works/16818093092898592076/episodes/16818093094004973976>
19. 命式計算機 (四柱推命・運命式) - Magic Wands（マジックワンズ）, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://www.magicwands.jp/calculator/meishiki/>
20. 十大主星ってなに？算命学の十大主星と特徴を解説, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://yamato-ougi.net/blog/archives/3068>
21. 算命学｜アポロン山崎の占い, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://apollon-yamasaki.jp/>
22. 十二大従星ってなに？算命学の十二大従星が表す人生の時期・宿命 ..., 1月 7, 2026にアクセス、 <https://yamato-ougi.net/blog/archives/3066>
23. 無料で算命学入門 - 赤坂にある日本最大規模の算命学の学校 - 朱学院, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://www.shugakuin.co.jp/fate_calculation>
24. 人体星図（陽占法）の場所の解説, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://sarumeigaku.com/meishiki/basyo/>
25. 午未天中殺・空亡とは？期間や意味・性格・恋愛・相性を解説, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://unkoi.com/article/umahitsuji_tencyusatsu/>
26. 「天中殺」はいつ？早見表でチェック！12年に一度の停滞期の ..., 1月 7, 2026にアクセス、 <https://kaigo-postseven.com/112474>
27. 天中殺はいつ？【2025年版】早見表で調べるあなたの天中殺と ..., 1月 7, 2026にアクセス、 <https://sp.suisho-tamako.net/article/yearly/11672/>
28. 運気の巡り方 - 占い事典 - 占いTVニュース -, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://uranaitv.jp/dictionary/446>
29. 八字命理之起大运、排大运的计算方法 - Scribd, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://www.scribd.com/document/809386167/%E5%85%AB%E5%AD%97%E5%91%BD%E7%90%86%E4%B9%8B%E8%B5%B7%E5%A4%A7%E8%BF%90-%E6%8E%92%E5%A4%A7%E8%BF%90%E7%9A%84%E8%AE%A1%E7%AE%97%E6%96%B9%E6%B3%95>
30. 算命学｜無料占い・細密命式でわかる！あなたの宿命・運勢・性格, 1月 7, 2026にアクセス、 <https://unkoi.com/special/sanmeigaku/>